

第6回 長岡市立地適正化計画策定委員会

令和5年1月23日
長岡市都市整備部都市政策課

1

1	計画策定までの経緯	2
2	パブリックコメントの結果	5
3	改定計画書(案)	7
4	主な意見への対応	11

3

	2021年度		2022年度			2023年度	
	第1回 (9月)	第2回 (12月)	第3回 (3月)	第4回 (6月)	第5回 (10月)	第6回 (1月)	(2月)
居住誘導	本市のまちづくりの方針、現行計画の特徴など	(人口、都市機能、公共交通、土地利用、財政、防災) 現状と将来見通し	今後のあり方	改定骨子(案)	計画書修正(案)	改定計画書(素案)	パブリックコメント
都市機能							
公共交通							
防災指針							
		現行計画の中間評価				改定計画書(案)	
							都市計画審議会 意見照会
							改定
							公表

開催日等	検討内容
第1回 (R3.9.28)	(1) 市長からの諮問 (2) 本市の現状とまちづくりの方針、国の制度改正などの概要 (3) 現行計画の特徴説明 (4) 検討スケジュールの確認
第2回 (R3.12.20)	(1) 現行計画の中間評価 (2) 居住誘導・都市機能誘導の今後のあり方検討 (3) 防災指針（全体構想）の方向性検討
第3回 (R4.3.9)	(1) 改定骨子（案） (2) 施策等の整理 (3) 災害リスク分析・評価
第4回 (R4.6.24)	(1) 中間評価（追加報告） (2) 防災まちづくりの方向性（案） (3) 計画書修正（案）
第5回 (R4.10.4)	(1) 第4回策定委員会からの修正事項 (2) 防災指針
第6回 (R5.1.23)	(1) 改定計画書（案） (2) 市長への答申

2 パブリックコメントの結果

2(1) パブリックコメントによる意見募集

2 パブリックコメント

6

実施期間:令和4年11月1日～同年11月30日

結 果:意見無し

→ 改定計画書(素案)の修正なし

7

3 改定計画書(案)

より災害に強くこれからも安心して住み続けられる
まちづくりの推進

- ・中間評価を踏まえて施策を拡充
- ・防災指針を追加し、各章に防災に関する内容を強化

今回の改定は、あくまで中間評価に付随して行うもの
→居住及び都市機能誘導等の基本的な方針は変更しない

3(2) 改定の趣旨

第1回策定委員会P25参照

(1) 現行計画の中間評価

- ・立地適正化計画を策定した場合、**概ね5年毎**に施策の実施状況についての調査、分析及び評価を行う努力規定が存在
- ・本計画でも、基準年度を平成22年度とし、国勢調査時点である**令和2年度を中間評価年度**、令和7年度を評価年度とし、目標値を設定
- ・中間評価では、最新の平成27年度国勢調査の数値を使用



これまでの取組による効果を検証し、計画に反映

(2) 本市が抱える課題への対策の強化

- ・事業効果が課題に与える影響を明確にするため、現行計画を整理して、課題、まちづくりの方針、施策、事業、評価指標の関連付けが必要
- ・計画策定後に新たな国の支援制度が創設されたため、本市の課題に対する活用について要検討



「安全・安心で、持続可能なコンパクトなまち 長岡」を実現するための誘導施策及び事業概要について、まちなか居住区域外も含めて明示

3(2) 改定の目的及び趣旨

3 改定計画書(案) 10

第1回策定委員会P25参照

(3) 防災指針の策定

- ・本計画の根拠法となる都市再生特別措置法等の一部改正に合わせて計画の見直しを検討する。
- ・法改正におけるポイントとして、まちづくりにおける「防災・減災の主流化」に向け、防災・減災対策を位置付ける「**防災指針**」が立地適正化計画の記載項目として追加された。



より災害に強いまちづくりを進めるため、第7章に新たに防災指針を追加するとともに、他章にも防災・減災に係る事項を追加

11

4 主な意見への対応

4(1) 第5回策定委員会の主な意見への対応

4 主な意見への対応 12

カテゴリ	No.	計画書 案 ページ	意見・提案	対応
防災	1	83	・防災まちづくりにおける総合的・多層的な取組（イメージ）の図が分かりにくい。	・図に新たに注釈を追加し、図の考え方について説明を追加した。
	2	90, 99	・地域別とエリア別の違いが分かりづらい。	・地域別は各地域全体、エリア別は各地域のまちなか居住区域内を示している。 ・説明内容を補強した。
	3	100	・地域防災計画との関連をわかりやすく示すべき。 ・復旧・復興に関する計画との関連を示すべき。	・防災指針と他計画との関係を新たに示した。
評価指標	4	121	・安全性が高いエリアの定義を誤解されないように説明が必要。	・注釈を補強した。
	5	122	・外水の浸水深0.7m未満が安全と誤解されないように説明が必要。	・地盤面から0.5m以上の浸水深で避難は困難であること、0.7m未満の浸水深が家屋内での避難においては比較的安全であることなどを踏まえ、表現を整理した。
施策	6	141, 144~145, 148	・主な対象者に行政とあるが、国・県・市と具体的に書いてよいのでは。	・主な対象者が「行政」であったものを「市」に修正。

4(2) パブリックコメント前の主な修正点(委員指摘以外) 2 改定計画書(案) 13

カテゴリ	No.	計画書 案 ページ	課題	対応
計画全般	1	2~6	・本市計画と国の制度で定める内容が混在	・1章の概要と7章の関連内容を再整理。
人口推計	2	10	・人口推計値の表現	・「～します」を「～する見込みです」に変更。
防災	3	102, 104, 106, 108, 110, 112, 114, 116	・民間等から実施してもらいたい取組の明示	・民間等から実施してもらいたい取組に下線を記載した。
施策	4	160	・長岡市で指定されていない特定都市河川に関する事業の記載	・記載内容の位置づけを示す注意書きを追記。

4(3) パブリックコメント後の主な修正点

カテゴリ	No.	計画書 案 ページ	課題	対応
防災指針	1	91~98	・まちなか居住区域、都市機能誘導区域とレイヤの関係 ・リスク範囲の記載	・作図を修正。
区域面積等	2	資-35	・令和22年の人口密度等推計値の変化 ・まちなか居住区域及び都市機能誘導区域の面積の集計	・令和22年の人口密度等推計値の変化、まちなか居住区域及び都市機能誘導区域の面積の表を追加

○改定計画書(案)についてのご意見

○今後のまちづくりについて思うこと(感想)

ご多忙のところ、ご参画いただきありがとうございました。15

